

## ミッションステートメント

- |         |                       |
|---------|-----------------------|
| ○提案課題名  | 「多様性活力発揮に向けての女性研究者支援」 |
| ○総括責任者名 | 「森 秀樹」                |
| ○提案機関名  | 「岐阜大学」                |

### (1) 計画構想の概要

#### 1) 意識改革

- ・平成 22 年度から 6 年間の男女共同参画行動計画の制定
- ・啓発セミナーおよびシンポジウム、教職員対象のFD・SDの実施
- ・在校生を対象とする人権学習、ジェンダー研究関連授業の開講数増強
- ・PDC Aサイクルに基づく継続事業のアクションプランの改善

#### 2) 女性研究者育成

- ・女子学生の進路・生活面の相談に応えるメンター制度の実施
- ・学生支援GPにより蓄積された経験知を活用した生涯支援プログラムの強化
- ・女性研究者と女子学生の交流拠点「カモミール・カフェ」の設置・運営
- ・博士後期課程在籍の女子学生による小中高等学校への出前講義の実施
- ・奨学金制度による女子学生の博士後期課程進学支援

#### 3) 女性研究者支援

- ・出産・育児・介護に関わる女性研究者の研究継続が可能となる研究支援者の配置
- ・若手女性研究者を対象とする先輩女性研究者および学外者によるメンター制度の実施
- ・女性休憩室の整備、女性教職員の体調管理・健康啓発の実施
- ・既存保育園のさらなる充実
- ・男女共同参画支援コンシェルジュによるオンデマンド型女性研究者支援事業

#### 4) 人的資源循環支援

- ・岐阜県内自治体・岐阜労働局・県内産業界と連携した男女共同参画連絡協議会の設置
- ・女性研究者人財バンクの整備、同窓会連合会・岐阜県環境生活部の女性人材リストの拡充
- ・岐阜労働局・NPO・女性科学者の会・岐阜県医師会等との協働による再チャレンジ支援
- ・ネットワーク大学コンソーシアム岐阜における公開市民講座の活用

### (2) 実施期間終了時における具体的な目標

- ・女性教員比率 13%を達成し、10 年後には 20%に近づける雇用の促進
- ・女子学生奨学金制度の運用による女子学生の博士後期課程進学の推進
- ・休職時等における研究支援者事業、学内メンター制度による女性研究者離職率の低減
- ・保健管理センターの充実による相談窓口の一元化と生涯支援体制の強化
- ・女性研究者と女子学生の交流拠点「カモミール・カフェ」の運用によるキャンパス支援
- ・啓発セミナーの継続的实施による全学的な男女共同参画に関する意識向上の達成
- ・女性研究者人財バンクの充実と再チャレンジ支援による県内女性研究者雇用・再就職の推進

### (3) 実施期間終了後の取組

- ・意識改革・啓発セミナーを継続
- ・男女共同参画事業に関する情報収集の継続と改善アクションの提示と実践
- ・女子学生対象キャリアガイダンスの継続
- ・小中高等学校での女子学生出前講義の継続
- ・「カモミール・カフェ」の継続的運用
- ・休職時の研究支援者事業の継続
- ・メンター制度による若手女性研究者支援の継続
- ・テレワークシステムの本格的運用
- ・女性研究者人財バンクの充実、研究中断者の再チャレンジ支援の継続

### (4) 期待される波及効果

- ・女子小中高等学校生が、自分自身の将来像として「研究者」としての夢を持つことができる。
- ・岐阜大学が、女性研究者の再就職チャレンジの場および支援拠点となる。
- ・岐阜県の男女共同参画事業・少子化対策事業の一端を担い、県内の女性就職支援を推進する。
- ・女性研究者のみならず、男性教職員も含めた全学教職員の生涯支援が推進される。
- ・優れた女性研究者を育成し、国内外の学術研究・教育の発展に寄与する人材を輩出する。